

真宗大谷派
(東本願寺)

桑名別院 本統寺

ご坊さんだより

2023年

4月

春季彼岸会法要

さる3月18日から24日まで桑名別院の「春季彼岸会法要」が厳修されました。最終日の七日目には境内の桜が咲き始め、まさに「暑さ寒さも彼岸まで」という1週間の中でのへ五百人の方にご参拝いただきました。



有志による前日準備(幕張り)



境内で桜の花が咲く...



本堂にて彼岸会総経



庫裡にて毛仏奉讃法要

桑名別院の彼岸会は毎日午後1時から「彼岸会総経」が勤められ、桑名別院に須弥壇収骨(納骨)をされている方が多く参られます。また初日、中日、結願(最終日)には午前9時から「日中法要」が、6日目には庫裡でお預かりしている毛仏前で「毛仏奉讃法要」を勤めます。

ご法話

春季彼岸会期間中の三日間、亡き人をご縁に自身を確かめるご法話をいただきました。

18日(土) 『阿弥陀経』のころ

『阿弥陀経』にて念仏の信心を勧めるために登場する諸仏は、親鸞聖人というと具体的には『正信偈』に説かれる七高僧といえるでしょう。私たちに置き換えても、直接や間接的にご縁のある方々に対して「念仏を勧めて下さっているのだ」と受け止めることができれば、亡き人を諸仏として仰ぐ「彼岸会」をお迎えすることができますのではないのでしょうか。

19日(日) 『お彼岸に思うこと』

お墓に参ることは良いことも悪いことも合わせて刻むご先祖の歴史に参ることであり、此岸に生きる私たちの生活を振り返らせていただく大切な時間だと思います。「そんなとくか人間のものさしこそかまごか佛さまのものさし」(相田みつを)という詩のように、煩惱に眼を遮られ、嘆いてばかりの私どもに、仏法は、また浄土(彼岸)は真の方向を示し続けてくださっているのです。

21日(火) 『寺は俱行の道場である』(金子大栄)

お預かりしているお寺に入寺した時、またお寺から離れた場での生活に変わった時、これまでお寺を成り立たせてきた人や思い、差別の事実、生活と出遇いました。仏教が大切としてきたことは、平らな関係の中でもに連れ立ち、世話をかけ合う関わりの中、誰もが大切にされる世界があるということだと思います。だからこそ「寺は俱行の道場である」といえるのでしょうか。

講師 尾畑潤子(いなべ市東稱寺)



講師 山田恵文(四日市市安正寺)

講師 石川加代子(多度町西方寺)

十三回忌を迎える 勿忘の鐘 - 東日本大震災のつどい

さる3月11日(土)に三重教区有志の会により「勿忘の鐘―東日本大震災のつどい―」が開催されました。

「勿忘の鐘」とは、本稱寺(若手県陸前高田市)が津波で流された際、後に発見された釣り鐘に名付けられたものであり、震災後に高台に再建された本稱寺に今も設置されています。

「忘れないでください。それが被災地の一番の願いです。」

そんな本稱寺住職の佐々木隆道さんの思いと共に、全国の寺院各所で震災のあった14時46分に鐘を鳴らし、黙とうをささげています。また桑名別院では「あかりプロジェクト桑名」により3・11の形に並べた蝋燭を鐘楼脇に灯してきました。

十三回忌を迎える本年は、「私たちが今

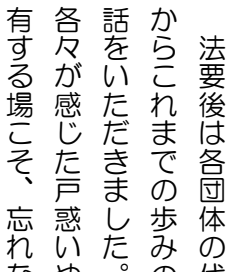
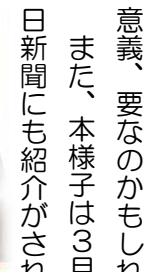
ここに命をいただいている

そのことの願い」

に向き合う法要として勤められました。



法要後は各団体の代表の方々からこれまでの歩みの中での感話をいただきました。こうして各々が感じた戸惑いや不安を共有する場こそ、忘れない法要の意義、要なのかもしれません。また、本様子は3月12日の中日新聞にも紹介がされました。



福島プロジェクトについて

福島第一原発の事故後、放射能汚染や低線量被ばくの問題に現地の方々が悩み続けている中、「福島の子どもたちを三重で受け入れてください」と声を挙げてくれた被災地の仲間がいました。その出遇いに動き出す自分の心をカタチにしたいという思いからスタートしたプロジェクトです。限られた期間だけでも福島の子どもたちと思いつきの遊んで、笑って、食べて、親子ともに過ごしたい。この活動は「震災の年に生まれた子どもが成人するまで」が目標です。ぜひ書留にて左記の宛先、または桑名別院の募金箱までご支援賜りますようお願い申し上げます。

郵便振替先

口座名 フクシマノコドモたちフミエへ
プロジェクトジッコウイインカイ
(福島の子どもたちを三重へプロジェクト実行委員会)
口座番号 00830141151775

トルコ・シリア大地震の募金について

2023年2月6日、トルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とする大地震により両国で5万4千人以上の死者がでました。さらに3月14日〜15日には豪雨に伴う洪水が発生し、14人の死者がでるなど甚大な被害が今も続いております。そこで桑名別院では境内に募金箱を設置し、集まった救

援金を宗門より日本赤十字社等を通じて、現地の救援活動に送金することといたしました。そしてこの度、3月25日付けの第一回集計分「21万7千192円」を送金させていただきました。引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。



詳しくは

婦人会総会・追弔会

さる3月7日(火)、桑名別院本堂にて婦人会の追弔会をお勤めし、つづいて総会が開かれました。

また最後には輪番よりの挨拶と法話がなされ、桑名別院の崇敬護持に多大なるご尽力を



姿から改めて念仏の歴史と伝統を各々の身をもって体現し、受け継ぎ伝える重要性を胸に刻みました。

婦人会だより発行

また、総会にあわせて「婦人会だより〔第25号〕」が発行されました。各寺院、または三重教区・桑名別院の公式ホームページよりご覧いただけます。



仏具のおみがき

「春の仏具のおみがき」が行われました。

おみがきで使用する金属みがき用の研磨剤も昨今の物価上昇に合わせて値上がっています。しかしそれ故に、おみがき等の奉仕活動には時代に左右されない尊さがあることを実感いたしました。



さる3月9日(木)の午前中、彼岸会に向けて

奉仕活動のご案内

4月 8日(土) 午前	花まつりお手伝い
6月下旬~7月上旬	墓地・池の草刈り
7月 6日(木) 午前	夏の仏具お磨き
9月 7日(木) 午前	秋の仏具お磨き

これまで桑名別院本堂をはじめ、諸施設、境内の営繕は皆様のご奉仕のお心によって保たれ、現在まで引き継がれてまいりました。上記の予定以外にも常時お心配りをいただける方々やお役の力によって支えられております。奉仕活動へのご参加、是非ともお待ちいたしております。



ご寄付(募金)のお願い

現在、春秋彼岸会と報恩講の際に建てる吹き流しのポールが経年劣化によって垂直に立ることができず危険な状態にあります。

そこで御堂役の願い出によって、参拝者の皆様よりご援助を募り、立て替える運びとなりました。是非ともご寄進いただけますようお願い申し上げます。



桑名別院 寺町紀行

「行ってきます。」今日は桑名別院の婦人会清掃奉仕日。車にエプロン・手袋等を入れて長島から出発します。義母から受け継いで30年。暑さ、寒さの中を通い続けてきました。

朝一番早いのは朝日町の方達。北勢町からもバスや電車で来られる人がいます。桑名市内やいなべの方も到着次第本堂に向かいます。先ず椅子を片付け掃除機をかけて畳拭き。80枚を丁寧に拭いていきます。次はサッシのサン拭き。きつくしぼった雑巾でほこりを拭き取ります。最後はトイレと広い縁・階段。吹きさらしなのでバケツの水もすぐ汚れてしまい、何度も運ぶの中々大変なのです。互いに励まし合い乍ら頑張ります。終了後は綺麗になった縁でお茶タイム。年間6、7回行事前の奉仕活動です。午前中、2時間程の作業ですが、70才・80才と高齢になり若い方の協力が欲しいと願っております。終了後は寺町商店街の買物も楽しみの一つとなっています。

(婦人会会長 伊藤たね子)





4月の行事予定




法話 (又は講演) のご案内


◇ 同朋会 会費 500 円
 4月7日 (金) 午後1時～3時
 講師 **安田 雅** (桑名別院輪番)
 毎月第一金曜日開講。
 次回 5月12日 (金) 午後1時～3時

◇ 人生講座 会費 500 円
 4月2日 (日) 午前7時～8時
 講師 **片岡 健**
 (菰野町 長傳寺 住職)
 ※毎月第一日曜日開講。 次回は5月7日 (日)、
 講師 芳岡 恵基 (菰野町 翠巖寺 住職)

◇ 桑名別院法話のつどい
 4月13日 (木) 午後1時～3時
 講師 **佐々木 顯彰**
 (いなべ市 安顯寺 住職)


◇ 親鸞聖人御命日のつどい
 4月28日 (金) 午後1時～3時
 講師 **猪飼 真**
 (多度町 圓正寺 住職)

◇ 晨朝法話
 毎朝 午前7時 法話 別院列座
 (13日、28日の御命日は輪番)


◇ 花まつり お釈迦様の誕生をお祝いし、共に喜びましょう
 4月8日(土) 午前10時～12時
 桑名別院山門前にて、お釈迦様の周りを花で飾り、甘茶をおかけします。婦人会と共に甘茶の試飲もご用意しております。ぜひお参りください。


晨朝 (おあさじ) 毎日午前7時～

祥月経 毎日午前9時～

13、28日は午後1時～、又31日は30日に兼ねます。
 他の時間に祥月経をご希望の方、または年忌等、各種お参りをご希望の方は寺務所までお問い合わせください。

お夕事 毎日午後4時～

御命日のお参り

前住上人 13日 / 親鸞聖人 28日
 前日：午後1時より速夜
 御命日：午前7時より晨朝、午前9時より日中

◇ 闍如上人 (第24代) 御正当
 4月12日(水) 午後1時 速夜
 13日(木) 午前7時 晨朝 午9時 日中

◇ 御歴代御命日
 4月12日(水) 一如上人 第16代
 14日(金) 琢如上人 第14代
 24日(月) 綽如上人 第5代
 前日：午後4時より速夜
 御命日：午前7時より晨朝 兼 日中

宗祖誕生 850年・立教開宗 800年を慶び、
一緒に親鸞聖人の足跡を辿りましょう

東本願寺 ⇒ 昼食「ホテル平安の森京都」(湯豆腐御膳)
 ⇒ 大谷祖廟 ⇒ 精蓮院門跡 ⇒ 井筒八つ橋本舗

参加費 7,000 円 (昼食代・参拝料含む)
 主催：桑名別院


本山団体参拝 (ご案内)

真宗大谷派 (東本願寺) では、現在、「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が動まっています。桑名別院も婦人会の皆さんを中心に4月19日、本山へ団体参拝いたします。まだ席に空きがございますので、参加希望の方がいましたら、4月10日までに桑名別院までご連絡ください。

日程 2023年 4月19日 (水)
 集合 桑名別院 7:00 / 解散 18:00頃

※ 宗祖誕生 850年 御誕生 850年 立教開宗 800年
 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう
 高野大谷派 (東本願寺)

真宗大谷派 (東本願寺)
桑名別院 本統寺

〒511-0073 三重県桑名市北寺町47番地
 全日 開門 6:00 / 閉門 17:00 (寺務所 平日 9:00~17:00)
 TEL (0594)-22-0652 FAX (0594)-22-0681
 メール kuwanabetsuin@gmail.com

